

本日は、久山町議会 11 月臨時会を招集いたしましたところ、議員全員の皆さまにご出席賜り、心より感謝申し上げます。

町長就任後の初めての議会でございます。この場をお借りしてご挨拶を申し上げます。

去る、10 月 28 日に久山町長に就任いたしました西村勝でございます。皆さま、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

この度の選挙では、多くの町民の皆さまの温かいご支持を頂戴したことを大変光栄に思っております。そして改めて、久山町の「未来を担う責任」で身が引き締まる思いでございます。

私は、久山町が直面している様々な課題と正面から向き合い、一つひとつ丁寧に解決しながら、久山町がもつ「素晴らしい財産、魅力」を存分に生かした「活力あふれる町」にしていきたいと考えています。そうした思いを町民の皆さまと共有し、徹底した「当事者目線」で成し遂げていきたいと思っています。

さて、皆さまもご承知のとおり、社会は今、先の見えない大変な時代を迎えています。

人口減少は 2008 年をピークに加速度的に進行しています。国の人口は、2040 年には 1 億人弱に減少すると予測されています。平均すると毎年およそ 100 万人、極端な例えですが、2 年で福岡市規模の都市が消滅する人口数です。近年では、地震や台風、豪雨などの自然災害も頻発し、甚大な被害が発生しています。さらには、新型コロナウイルスの世界的な大流行は、私たちの生活様式そのものを変えざる得ないほどです。

このような中、本町では人口 9,000 人を超え、近年の人口増加率は、県内はもちろん、全国において上位となっています。年少人口増加率、生産年齢人口増加率も同様の結果です。財政力を表す指数は、令和 2 年度では 0.87 と県内でも高い数値となっています。

また、数値だけではなく、時代に流されない、日本の古き良き時代を守り継いできた取り組みが「奇跡の町」としてさまざまな分野、方面から注目されています。人口減少が続き、モノがあふれる社会の中で、人口や経済規模の大小が人間の豊かな暮らしを測るものさしではなくなってきました。福岡市に隣接しながらも、自然豊かな風景や人と人との温かいつながりが残された「奇跡の町」は、先人の方々をはじめ、町民の皆さまお一人おひとりが築いたものです。

これからは、「久山町だからこそ描ける未来」を町民の皆さまとともに考え、「次世代に誇れる町」に発展させていくことが、私たちに求められています。久山町の発展には、地域にある力を生かして、地域独自の取り組みを提供していくことで、「自主自立」をめざしていくことが必要であると考えています。そのためには、地域を多角的に見る「人材の育成」に力を入れること、町民だけではなく、町内外の企業、事業者の方々などと連携を行い、「健康、福祉サービス等の向上」を図ること、加えて「定住

促進]、「財政基盤の確立」に向けた「中長期的な取り組み」を積極的に展開することが重要です。

その基盤をつくっていく取り組みとして、「三つの政策」を展開していきたいと考えています。

一つ目は、「人づくり」です。思いを繋ぐのは人であり、人が町をつくります。まず、「教育」に力を入れ、具体的には、インターネットを使った独自の授業の取り組み、第一線で活躍する人から直接学ぶ体験を増やす取り組み、世代を超えて学び合う機会をつくること、これらは、地方であっても「高度な教育や学び」が受けられる町を目指すことに繋がります。

二つ目に、「仕事づくり」です。町の活力向上にはシニア世代や子育て世代の皆さまが生き生きと暮らすための仕事づくりが必要不可欠であると考えます。特に、石切・長浦地区においては、健康をテーマとした新しい形の産業団地の開発を進め、SDGsを活用した全国モデルとなる団地として、優良企業を誘致していきます。それによって、「新規雇用と財政基盤の確保」に繋げていきたいと考えています。本町の恵まれた立地を生かし、自然と調和した企業誘致や農業振興を進めることにより、新たな仕事や働き方を生み出していく「久山スタイル」を目指します。

三つ目に、「健康づくり」です。人生100年時代を迎えた今、体の健康だけでなく、心の健康も重要だと考えます。本町は、九州大学との連携で、最先端の健診が受けられる町です。さらに、健康福祉への取り組みとして、生きがいや楽しみづくりへの投資を行っていきます。生活交通の充実や地域の公園づくり、楽しみながら学べる健康講座の充実を進めていきます。いくつになっても心身ともに健康で、やりたいことにチャレンジできる、新たな「健康の町」を目指します。

最後に、地方のまちづくりにおいて、議会は「大切な場」です。地方自治制度では、首長と地方議員を住民が直接選ぶ、二元代表制がとられています。議会は、選挙で選ばれた首長と議員の皆様が議論を交わし、主権者である町民の民意を反映させるための場です。

まちづくりは、私一人で行うことはできません。私は、この場を大切に、これからの「新しい久山」「未来に誇れる久山」を、皆さまと共に考え、つくっていきたいと思います。

未来を生きる皆さまの思いをしっかりと受け止め、持ち前の行動力で、久山町の未来を築いていくように、誠心誠意努めていく所存です。

議会の皆様、町民の皆さまのご指導、ご協力をお願いいたします。

以上を持ちまして、私の所信のご挨拶とさせていただきます。

令和2年11月27日

久山町長 西村 勝